



うなぎを食べる会



「納涼会をやらないなら、うなぎが食べたい」という春日メンバーからの要望を受け、8月22日（土）に半年ぶりの行事として開催しました。実施に当たっては、手指の消毒や食前・食後のマスク着用等を徹底した上で行いました。

この日、春日メンバーは、うな井や天井に思いをはせながら？午前中は通常の作業を行い、三崎メンバーは、職員と一緒にうな井や天井作りを行いました。

かば焼きに使用したうなぎは、職員の人脈で市内の料理店から白焼きして冷凍したものを安価で入手することが出来ました。それを解凍後にお酒にくぐらせ、オーブンで焼きながら何度かタレに漬けて仕上げました。調理を行った職員は、うなぎの焼き加減を見たり、市販のタレを濃くするために鍋で煮詰めたりするなど苦心したようですが美味しく出来ました。うな井を食べたメンバーからは、「おいしかった。でも行きつけの牛丼店で食べるのより歯ごたえがあった」や「〇〇〇〇（老舗うなぎ料理店）のよりおいしかった」といった感想をもらいました。



▲うな井・お吸い物・ミョウガときゅうりの甘酢漬け・チーズケーキ



▲天井（うなぎが苦手な人向け）



ラディッシュ 収穫

8月上旬に種をまいたラディッシュ（二十日大根）がその名の通り8月下旬に収穫期を迎えました。実の部分は鮮やかな赤紫色でちょうど食べ頃といった感じで、袋詰めにしたものを市役所でのパン販売時に1袋100円で販売し、完売しました。



ちょっと変な草刈り依頼

不動産会社から、中央のブロックを挟んだ両側1mくらいの所にある境界石までの草を刈って欲しいとの依頼で行いました。どうも草がまだたくさん残っていてスッキリしない感じですねえ。(^^;)



～編集後記～

新型コロナウイルス拡散防止の為、春から夏にかけての祭りやイベントなどがことごとく中止や延期になり、さびしい夏となってしまいました。少しでも早くワクチンが出来たりや有効な治療法が確立することを願い、一日も早く眼鏡がくもって困るマスクをしなくても外出出来る以前のような日常が戻って欲しいと思います。